

# 第102期 中間報告書

2025年4月1日 ▶▶ 2025年9月30日

## Contents

株主の皆様へ .....	P.1
セグメント別概況(連結) .....	P.3
トピックス .....	P.5
連結財務諸表 .....	P.7
会社情報・株式情報 .....	P.9

企業環境ステートメント

**ECOing™**  
エコで行こう! エコへ移行!

シンフォニアテクノロジー株式会社  
(証券コード: 6507)

# 株主の皆様へ To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。  
当社グループはこの9月30日をもちまして、第102期の中間連結会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）を終了いたしましたので、業績について概要をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、米国の関税政策などの間接的な影響により不透明感が高い状況が継続する中で、防衛力整備計画に伴う防衛関連機器の需要継続と国内電気設備工事の旺盛な需要に支えられ堅調に推移いたしました。

このような景況の下で当社グループといたしましては、中期経営計画「SINFONIA NEXT DREAM」を策定し、長期目標である「社会・顧客・自らに響く挑戦と成長企業への変革」の実現に向けて、半導体関連分野・航空宇宙分野を中心とした事業規模の拡大に取り組んでまいりました。

半導体関連分野においては、市場の変化に左右されない事業成長を目指し、EFEM等のシステム品及びDDモータ等の装置組込品のシェア拡大に取り組んでまいりました。また、半導体後工程搬送向けのロードポート・自律走行ロボット(AMR)の開発及び営業活動に継続して取り組み、後工程への進出に向けて前進いたしました。

航空宇宙分野においては、防衛分野の需要増加に対応するため増産体制の構築を進めたほか、月面探査実現に向けて開発が進む月面インフラや民間ロケットへの参入、無人機用電装品の開発など、事業領域の拡大に取り組んでまいりました。

また、無人搬送車及び各種ロボットの段階的な導入を進めるとともに、DX推進活動の体制強化等、自動化・デジタル化への投資による生産性向上に取り組んでまいりました。さらに、今後の一層の成長投資を見据え、キャッシュ・フロー改善を推進してまいりました。

企業集団の連結業績につきましては、受注高は769億50百万円（前年同期比6.4%増）、売上高は557億96百万円（同7.8%増）となりました。損益面につきましては、経常利益は62億59百万円（同5.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は45億51百万円（同6.4%増）となりました。営業利益率は人材への投資等により前年同期と比べてわずかに低下しましたが、中間連結会計期間としては過去最高益を更新し、想定通りの実績であります。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、米国の関税政策の影響等の地政学的リスクが散見され、先行きの不透明感は継続すると予想されます。一方で、航空宇宙分野においては、引き続き堅調な需要が見込まれ、半導体市場においても、市場の回復時期は不透明ではあるものの、AI関連投資や、先端パッケージの実用化による生産プロセスの変化に牽引され、引き続き中長期的な市場拡大が期待されております。

このような情勢の中で当社グループといたしましては、中期経営計画における成長事業と位置付ける半導体関連分野及び航空宇宙分野に注力するとともに、技術開発力と技術対応力の強化に取り組んでまいります。

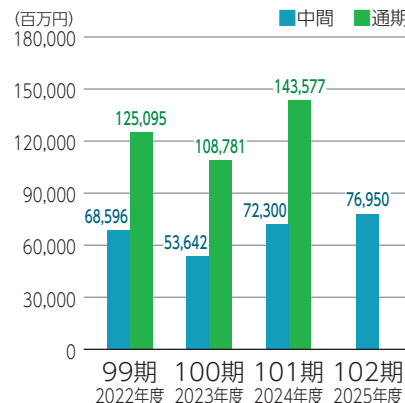
## 企業理念

「一步先を行く技術」  
「地球を大切に作る心」  
「思いやりのある行動」

私たちはこの3つを大切に  
人から宇宙まで

豊かな暮らしと社会の発展に貢献します。

## 受注高



半導体関連分野においては、当社のコア技術であるモータ技術や制御技術を活かしたウェーハの位置決め装置等の新製品の開拓を進めてまいります。また、中期的な事業拡大を見据え、生産管理システムの再構築等、生産現場の効率化を推し進めてまいります。

航空宇宙分野においては、さらなる事業拡大を目指し、宇宙分野や民間航空機分野の開拓による新事業の創出に取り組むとともに、CO<sub>2</sub>を排出しない次世代の電動航空機に必要なハイパワーモータ及びコントローラの研究を進めてまいります。

技術開発力と技術対応力の強化に向けては、名古屋での技術開発拠点新設等、技術者の増強及び若手技術者の育成プログラムの拡充に取り組むことで、対応領域の拡大及び開発のスピードアップを目指してまいります。さらに、クリーンなエネルギーとして注目されるLNG・アンモニア・液体水素の活用に貢献するモータ技術の開発を進め、コア技術であるモータ・制御技術で脱炭素社会の実現を目指してまいります。

これからも、株主の皆様、顧客の皆様から評価していただけますよう、さらに企業価値を高め、成長し続ける企業集団となるべく、グループを挙げて努力を重ねてまいります所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

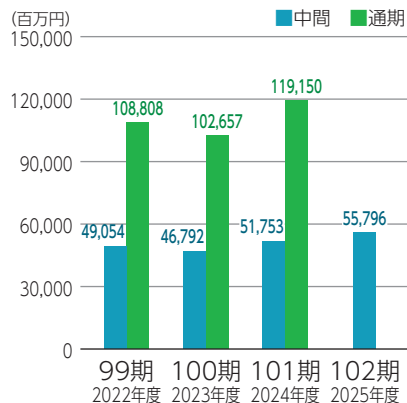
武藤 昌三

代表取締役社長

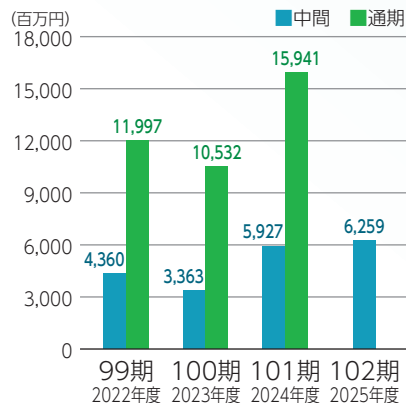
平野 新一

2025年11月

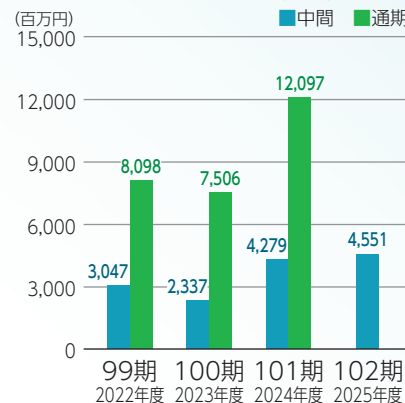
## 売上高



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益

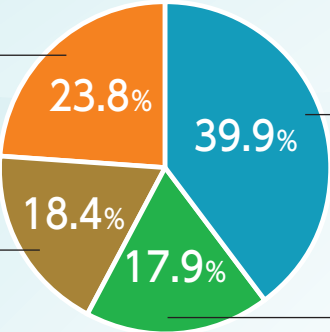


# セグメント別概況(連結) Overview by Segment

## 売上高構成比(2025年度中間)

### クリーン搬送システム事業

半導体の製造現場で使用される、ロードポート、EFEM、真空ロボット、ソーターなど、半導体製造装置間のウェーハの搬送を担う製品群を取り扱っています。



### エンジニアリング&サービス事業

各事業の製品アフターサービスや、設備納入時の設置工事を担っており、製品ライフサイクルの様々な場面でお客様のお役にたっています。

- シンフォニアエンジニアリング(株)
- シンフォニア商事(株)
- (株)アイ・シー・エス

### モーション機器事業

急激な温度変化や激しい振動が発生する過酷な環境下で正確な動きが求められる航空機、FA・ロボット、鉄道や建設機械等の分野に、電動アクチュエータやDDモータ、電装品、コントローラ等の機器を供給しています。

- 航空宇宙
- FAシステム
- クラッチブレーキ／モーションシステム
- 制御・情報機器
- 制御機器／情報機器

### パワーエレクトロニクス機器事業

上下水道や高速道路などの公共インフラ設備向け電気制御システムや、超高速回転、高精度制御が求められる自動車試験装置、-162℃の過酷な環境で動作する電動力機器、特殊な搬送方式でガラス繊維などの粉体や電子部品を搬送する振動機器、先鋭化されたパワーエレクトロニクス機器で皆様の生活を支えています。

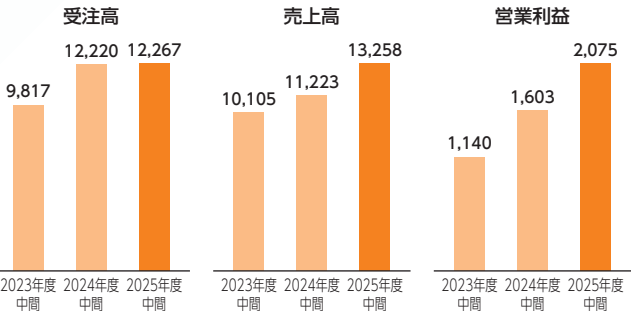
- 社会インフラシステム
- 振動機器
- 産業インフラシステム
- 試験装置

## クリーン搬送システム事業

(単位：百万円)

受注高	122億67百万円	(前年同期比	0.4%増)
売上高	132億58百万円	(前年同期比	18.1%増)
営業利益	20億75百万円	(前年同期比	29.4%増)

半導体製造装置需要の回復が鈍く、受注高は122億67百万円(前年同期比0.4%増)となりました。売上高は、高水準の期初受注残高を背景に132億58百万円(前年同期比18.1%増)となり、損益面につきましては、売上高の増加により営業利益は20億75百万円(前年同期比29.4%増)となりました。

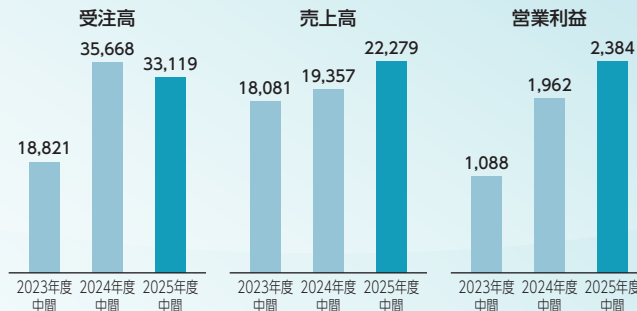


## モーション機器事業

受 注 高	331億19百万円	(前年同期比 7.1%減)
売 上 高	222億79百万円	(前年同期比 15.1%増)
営業利益	23億84百万円	(前年同期比 21.5%増)

前期に航空宇宙関連機器で大口受注があった反動により減少しましたが、半導体製造装置用アクチュエータの受注が増加したことにより、受注高は331億19百万円(前年同期比7.1%減)となりました。売上高は、受注残を着実にこなしていることから、222億79百万円(前年同期比15.1%増)となり、損益面につきましては、売上高の増加により営業利益は23億84百万円(前年同期比21.5%増)となりました。

(単位：百万円)

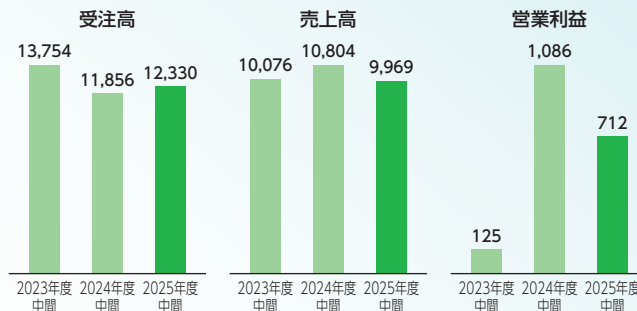


## パワーエレクトロニクス機器事業

受 注 高	123億30百万円	(前年同期比 4.0%増)
売 上 高	99億69百万円	(前年同期比 7.7%減)
営業利益	7億12百万円	(前年同期比 34.4%減)

EV向けを中心とした自動車用試験装置の受注が減少したものの、合成ゴム用振動乾燥・冷却装置で大型案件を受注したことから、受注高は123億30百万円(前年同期比4.0%増)となりました。売上高は、99億69百万円(前年同期比7.7%減)となりました。損益面につきましては、自動車用試験装置の売上高の減少により営業利益は7億12百万円(前年同期比34.4%減)となりました。

(単位：百万円)

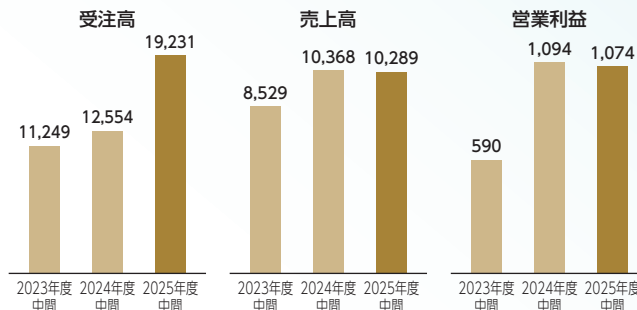


## エンジニアリング＆サービス事業

受 注 高	192億31百万円	(前年同期比 53.2%増)
売 上 高	102億89百万円	(前年同期比 0.8%減)
営業利益	10億74百万円	(前年同期比 1.8%減)

国内電気設備工事関連で大型案件を受注したことから、受注高は192億31百万円(前年同期比53.2%増)となりました。売上高は102億89百万円(前年同期比0.8%減)となり、損益面につきましては、売上高が減少したことにより、営業利益は10億74百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

(単位：百万円)





## 航空宇宙事業の受注好調

2025年度を初年度とする当社グループの中期経営計画「SINFONIA NEXT DREAM」の中で、航空宇宙事業への注力を重点施策の一つとしています。

防衛力強化・宇宙産業の成長促進が追い風となり、昨年2024年度は前年度比約2倍となる過去最高の受注額を達成いたしました。特に防衛関連分野においては、地政学的リスクが高まる中、急激に受注が増加し、2025年度も依然として当初想定を上回る需要があり、高水準の受注環境が中長期的に続くものと見込んでいます。宇宙分野においても、ロケットの電動化ニーズに適した制御装置や電動アクチュエータの採用実績を広げ、受注増に貢献しました。また、新領域となるアルテミス計画の月面インフラへの参画等に向けた研究開発を継続して進めてまいります。



H3 ロケット



ブルーインパルス（提供：航空自衛隊）

当社は、国内唯一の航空機用電源システムメーカーであり、航空・宇宙事業はモーション機器セグメントの中で大きなポジションを占めています。航空機電動化、国産ロケット開発の推進、防衛力強化など、当社の技術を展開できるチャンスが広がっており、成長事業として積極的な投資を行ってまいります。

## シンフォニアエンジニアリングが2年連続最高益更新

当社連結子会社のシンフォニアエンジニアリング株式会社（以下、SEG）の全社業績が2023年度、2024年度と2年連続最高益を更新いたしました。

SEGは、当社が製造・販売した製品のアフターサービス業務などを行う「システムサービス部門」、半導体製造工場向け搬送設備の設置工事や施設の電気工事・管工事などを手がける「工事部門」、汎用券売機、入退場システム等の製造・販売・サービス業務を行う「情報機器部門」の3事業を展開しています。

人材確保が難しい状況下においても、機動的な要員配置等により人的リソースを戦略的に活用し、経営資源の効率化を推進した結果、収益性を大幅に向上させることができました。その結果、2022年度と比べ、SEGの経常利益は2023年度で70%増益、2024年度は180%を超える増益となり、2年連続で最高益更新を達成いたしました。

新グループ中期経営計画「SINFONIA NEXT DREAM」の初年度である本年度においても、半導体製造工場向け搬送設備の設置工事が引き続き活況であることに加え、電気工事及び管工事の一括受注が好調に推移し、躍進を続けています。今後も、工事・サービス対応力の一層の強化を図り、受注及び利益拡大を継続してまいります。



シンフォニアエンジニアリング株式会社（本社・伊勢事業所）



連結貸借対照表

(2025年9月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部	
流動資産	72,327
現金及び預金	9,982
受取手形、売掛金及び契約資産	32,623
商品及び製品	3,889
仕掛品	13,570
原材料及び貯蔵品	11,501
その他	799
貸倒引当金	△39
固定資産	64,869
有形固定資産	40,463
建物及び構築物（純額）	15,048
土地	15,215
その他（純額）	10,199
無形固定資産	888
投資その他の資産	23,516
投資有価証券	16,226
その他	7,356
貸倒引当金	△65
資産合計	137,197

負債の部	
流動負債	37,237
支払手形及び買掛金	13,926
短期借入金	2,070
1年内返済予定の長期借入金	3,298
未払法人税等	1,450
製品保証引当金	423
受注損失引当金	269
その他	15,798
固定負債	17,230
長期借入金	9,211
役員株式給付引当金	245
退職給付に係る負債	2,413
その他	5,359
負債合計	54,467
純資産の部	
株主資本	65,789
資本金	10,156
資本剰余金	452
利益剰余金	57,118
自己株式	△1,939
その他の包括利益累計額	16,940
その他有価証券評価差額金	9,049
繰延ヘッジ損益	△2
土地再評価差額金	3,863
為替換算調整勘定	1,391
退職給付に係る調整累計額	2,638
純資産合計	82,729
負債純資産合計	137,197



連結損益計算書 (2025年4月 1日より  
2025年9月30日まで)

(単位：百万円)

売上高	55,796
売上原価	40,604
売上総利益	15,192
販売費及び一般管理費	9,105
営業利益	6,086
営業外収益	341
受取利息及び配当金	253
その他	87
営業外費用	168
支払利息	75
その他	93
経常利益	6,259
税金等調整前中間純利益	6,259
法人税等	1,708
中間純利益	4,551
親会社株主に帰属する中間純利益	4,551

連結キャッシュ・フロー計算書 (2025年4月 1日より  
2025年9月30日まで)

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	4,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,797
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	△136
現金及び現金同等物の増減額	△704
現金及び現金同等物の期首残高	10,221
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	466
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,982

会社概要

会社名	シンフォニアテクノロジー株式会社
設立	1949年（昭和24年）8月
創業	1917年（大正6年）5月
資本金	101億5,696万円
従業員	3,826名（連結）
本社所在地	東京都港区芝大門一丁目1番30号 芝タワー

株式の状況

発行可能株式総数	116,000,000株
発行済株式の総数	28,360,799株（自己株式1,428,323株を除く）
株主数	11,530名
大株主（上位10名）	

株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行(株)（信託口）	2,751	9.70
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,189	7.72
日本マスタートラスト信託銀行(株) （退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口）	1,835	6.47
(株)日本カストディ銀行（信託口）	1,655	5.84
ダイキン工業(株)	1,017	3.59
シンフォニアテクノロジーグループ 従業員持株会	918	3.24
シンフォニアテクノロジー取引先持株会	871	3.07
大日本印刷(株)	732	2.58
前尾 吉信	528	1.86
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	451	1.59

- （注） 1. 日本マスタートラスト信託銀行(株)（退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口）の持株数1,835千株は(株)神戸製鋼所から同信託銀行へ信託設定された信託財産です。信託約款上、当該株式の議決権の行使についての指図権限は(株)神戸製鋼所が保有しております。
2. 当社は、自己株式を1,428千株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
3. 持株比率は自己株式（1,428千株）を控除して計算しております。

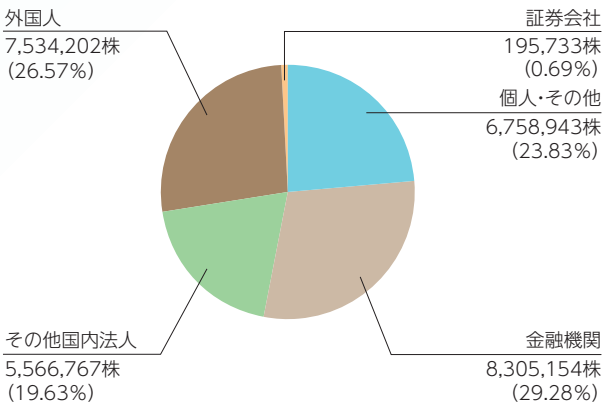
主要な営業所及び工場

支社	大阪、名古屋
支店	九州（福岡）
営業所	東北（仙台）、新潟、北陸（富山）、静岡、三重（伊勢）、中国（広島）
工場	伊勢製作所（伊勢、鳥羽）、豊橋製作所

主要な子会社の本社所在地

シンフォニア商事(株)（伊勢）  
シンフォニアエンジニアリング(株)（伊勢、東京）  
(株)アイ・シー・エス（伊勢）  
(株)大崎電業社（東京）  
シンフォニアマイクロテック(株)（明石）  
昕芙旋雅機電（香港）有限公司（中華人民共和国・香港）  
昕芙旋雅機電（東莞）有限公司（中華人民共和国・東莞）  
SINFONIA MICROTEC(VIETNAM)CO.,LTD.(ベトナム社会主義共和国・ハナム)  
SINFONIA TECHNOLOGY(THAILAND)CO.,LTD.(タイ王国・サムットプラカーン)  
昕芙旋雅商貿（上海）有限公司（中華人民共和国・上海）  
SINFONIA TECHNOLOGY (AMERICA) INC.（アメリカ合衆国・カリフォルニア州）

所有者別株式分布状況



## 役員

### 取締役及び監査役

代表取締役会長	武藤昌三
代表取締役社長	平野新一
取締役	山国稔
取締役	千手裕治
取締役	幡野隆一
取締役	稲垣努
社外取締役(非常勤)	佐古達信
社外取締役(非常勤)	藤岡純
社外取締役(非常勤)	藤岡章子
監査役(常勤)	堀悟
社外監査役(常勤)	大西健司
監査役(非常勤)	結川孝一
社外監査役(非常勤)	田村香代

### 執行役員

※専務執行役員	山国稔
※常務執行役員	千手裕治
※常務執行役員	幡野隆一
※常務執行役員	稲垣努
常務執行役員	坂本克之
執行役員	佐伯英一郎
執行役員	林和孝
執行役員	瀬田学
執行役員	塩崎明
執行役員	元吉誠
執行役員	上田輝基
執行役員	臼井一哉
執行役員	土田英誉
執行役員	小倉隆
執行役員	齋藤浩志

- (注) 1. 当社は、佐古達信、藤岡 純、藤岡章子、大西健司及び田村香代の5氏を(株)東京証券取引所の定めに基づく独立役員として同取引所に届け出ております。
2. 上記※印の者は、取締役を兼務しております。

## 単元未満株式(1株～99株)買増及び買取請求のご案内

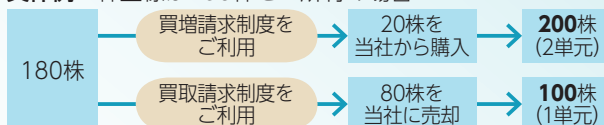
当社株式の証券市場での取引は100株単位となっており、単元未満株式を市場で売買することはできません。

当社では、「単元未満株式買増請求制度」または「単元未満株式買取請求制度」のいずれかの制度を選択してご利用いただけますので、ご案内申し上げます。

**買増請求制度** 株主様がご所有の単元未満株式と合わせて単元株式(100株)となるように、市場価格で当社から購入することを請求できる制度です。

**買取請求制度** 株主様がご所有の単元未満株式を、市場価格で当社に売却することを請求できる制度です。

### 具体例 株主様が180株をご所有の場合



## 単元未満株式の買増・買取、住所変更等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座にて管理されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 特別口座から一般口座への振替えについて

株券電子化に際して、証券会社等に株券を預けられていなかった株主様の株式は、三井住友信託銀行株式会社の特別口座に記録されています。特別口座に記録されている株式につきましては、株主様が保有株式の管理を簡便にするため、証券会社等の口座(一般口座)に振替えていただくことをお勧めいたします。

ご所有の株式が特別口座に記録されているかご不明の場合や、一般口座への振替えのお手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日  
(その他必要あるときは予め公告します。)

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 TEL 0120 (782) 031 (フリーダイヤル)



## シンフォニア テクノロジー 株式会社

〒105-8564  
東京都港区芝大門一丁目1番30号 芝タワー  
TEL 03 (5473) 1800  
<https://www.sinfo-t.jp>

**UD FONT**  
見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



この印刷物はFSC®認証紙を使用しています。 この印刷物は植物油インキで作成されています。

